臨床心理学コース教員の研究テーマと臨床のオリエンテーション

■ 永野浩二

○ **研究ジャンル：**自己実現、メンタルヘルス、パーソンセンタード・アプローチ

○ **研究のキーワード：**フォーカシング的態度、Personal Development、自己一致、幸せな生き方・働き方、エンカウンター・グループ、当事者研究、ダイアローグ

○ **研究に関するコメント：**人がその人らしく生きていくためには何が必要か、そのプロセスはどのように進むのか、ということについて、思春期～中年期までの人を対象として、臨床心理学の立場からの臨床実践と実証的な研究を行っています。その関連で、働く人の「幸せな生き方・働き方」についての研究・実践や、臨床家の Personal Developmentの研究・研修会の実施、方法論としてフォーカシングやグループ・アプローチの実践や研究、最近では当事者研究やダイアローグにも関心があります。

○ **臨床実践の指針：**「クライエントは自身を理解し発展・成長させる広大な資源を有する」という考え方・哲学の「パーソンセンタード・アプローチ」とその方法論（ 自らの体験をもとに人生を創造していく） に最も関心があり、その理論と体験から学び続けています。

■ 馬場天信

○ **研究ジャンル：**心身の健康に及ぼす感情処理、パーソナリティ、親子関係、メンタライジング機能の研究

○ **研究のキーワード：**心と身体の関係、ストレス対処、アレキシサイミア、情動知性、感情のメンタライゼーション、親子関係、対人関係、愛着形成

○ **研究に関するコメント：**私は精神分析臨床から概念化されたアレキシサイミア（感情　の気づきや表出、調整の乏しさ）について感情処理や親子関係、家族関係、愛着形成、メンタライゼーション、対人関係の在り方との関係に関心をもって長らく研究をしてきました。現在は、感情のメンタライゼーションにおける親子関係とアレキシサイミアとの関係に最大の関心をもって研究をしています。研究の関心領域は、心身医学や心療内科学における臨床心理学的介入やその基礎研究、そして、精神分析の臨床実践で注目されている事象（パーソナリティや諸概念）についての調査研究です。質的研究や事例研究は対象としていません。

○ **ゼミ内の臨床教育における方針：**私の専門は精神分析ですが、中でも関係精神分析および対人関係論に基づいた訓練を修了し、私設開業臨床で精神分析的な臨床実践をしています。そのためゼミは、臨床オリエンテーションについてこれらに強い関心を有している方で構成されています。院ゼミ生には、修士課程の 2 年間で KIPP 対人関係精神分析セミナー、大阪精神分析セミナー、精神分析研究会神戸のいずれかの年間プログラムを受けることを必須としています。無意識に関心を持ち、現在の困りごとに対して過去の親子関係をもとにした経験の影響を理解していくアセスメントや関りが できる臨床家の養成を心掛けています。

■ 溝部宏二

○ **研究ジャンル：**医学

○ **研究のキーワード：**心身症　精神病　精神療法　内観療法

○ **研究に関するコメント：**健康な方のメンタルヘルスから、ストレスによる身体の不調や心の病所謂精神病状態まで、脳と心理の両面からの対応法を考えています。

■ 櫻井鼓

○ **研究ジャンル：**犯罪心理
○ **研究のキーワード：**トラウマ、PTSD、犯罪被害者、非行、犯罪
○ **研究に関するコメント：**いじめ、SNSを介した子どもの犯罪被害、交通事故被害者の心理など、トラウマに焦点を当てた実証研究をしています。また、非行や犯罪行為の要因についての研究をしています。
○ **臨床実践の指針：**警察心理職としての臨床経験があります。現在は民間団体でのトラウマ支援、学校現場での課題解決の支援、開業の臨床、刑事裁判に係る心理鑑定を行っており、それぞれの現場に役立つ臨床実践を目指しています。

■ 辻潔

○ **研究ジャンル：**カウンセリングのトレーニング法、投影法の研究、身体心理学
○ **研究のキーワード：**マイクロカウンセリング、投影法心理テスト
○ **研究に関するコメント：**心理療法、心理テストといった臨床心理学全般について研究しています。特に最近はカウンセラー養成のためのトレーニング手法とその応用に関心があります。
○ **臨床実践の指針：**心理臨床活動は、主に小児科領域で、子どもや女性を対象に心理療法をして来ました。オリエンテーションは、人間性心理学の折衷派となりますが、心理学的立場での心理療法ということを強く意識しています。

■ 益田啓裕

○ **研究ジャンル：**社会福祉、子どもの心理療法・心理的支援
○ **研究のキーワード：**社会的養護、児童福祉施設
○ **研究に関するコメント：**社会的養護における子どもたちへの心理的支援について研究しています。
○ **臨床実践の指針：**児童福祉施設で子どもへの統合的心理療法と、子どもの養育者を支える取り組みを行ってきました。社会が子どもに良質なケアを届けるための手立て作りに関心があります。

■ 嶋大樹

○ **研究ジャンル：**臨床行動分析、Process-based approachタルヘルス
○ **研究のキーワード：**言語行動、シングルケースデザイン、関係フレーム理論、心理的柔軟性、行動分析学、文脈的行動科学、抑うつ・不安、生活習慣病
○ **研究に関するコメント：**適応／ 不適応につながる心理行動的問題の発生・維持要因の特定や、その変容方法の開発について、とくに人間の“ことば”が持つ力に注目して基礎／応用的な研究をしています。臨床行動分析学的な視点からの実証的な研究が中心です。
○ **臨床実践の指針：**臨床行動分析に基づく支援、とくに、アクセプタンス＆コミットメント・セラピーを実践しています。

■ 木村大樹

○ **研究ジャンル：**臨床心理学、 心理臨床、 心理療法
○ **研究のキーワード：**自閉スペクトラム症（ とその傾向）、箱庭療法
○ **研究に関するコメント：**主に自閉スペクトラム症やその傾向を抱える人のメンタリティについて研究しています。
○ **臨床実践の指針：**深層心理学（ ユング派）の理論を軸にしています。